

日本メコン地域経済委員会  
ベトナム社会主義共和国 マイ・ティエン・ズン官房長官との夕食懇談会  
開催概要

1. 日 時：2019年8月6日（火）18：00～20：00
2. 場 所：東京會館7階 クインス
3. 参加者：日本側 山埜英樹共同委員長はじめ12名  
ベトナム側 ズン官房長官、ナム大使など12名

4. 概要：

山埜共同委員長の歓迎挨拶の後、ズン長官が挨拶。山埜共同委員長の乾杯の後、自由懇談。ズン官房長官の挨拶・懇談概要は次のとおり。



挨拶する山埜共同委員長

山埜共同委員長の挨拶を聞き、ハナム省にいた頃のことを思い出した。

ベトナムと日本の協力関係は良好である。すべての分野、外交、貿易、投資、文化などで深まってくる。

日本はベトナムの最大の協力国であり、これまで20数年間ODAを通じて貧困対策、社会・経済の発展に協力してもらった。観光分野で日本からの訪問者数は3位、貿易額は4位であり、在日ベトナム人33万人は両国友好の証である。



挨拶するズン官房長官

今回の来日中、菅官房長官、阿部外務副大臣、二階幹事長、北岡 JICA 理事長と懇談、明日は総務省と電子政府の協力覚書を締結する。

ベトナム政府の訪問目的は両国首脳の合意内容の内容実現に向けて、G20 の大阪トラックにベトナムの支持を表明するもの。また、日本政府の電子政府や行政改革への取り組みを見ることである。

日本政府は電子政府の取り組みに成功しており、デジタル経済について、ベトナムも日本と協力し日本と同じレベルに持っていきたい。世界の第4次産業革命、IT 技術を導入したい。

日本企業もベトナム企業も政府に透明性を求めている。オンライン手続きで透明性を高め、汚職を防ぐ手段として促進していく。両国の共通の意見として安倍首相と共に推進していく。

この場で今回の訪日の成果を披露したい。菅官房長官や阿部外務副大臣との懇談を通じて、ベトナムに電子政府の機材の無償提供と研修プログラムの提供を約束してもらった。

ベトナムのビジネス環境について、ハナム省勤務の際に日本からの投資家と10の約束

をした。これを今も心の中に持っている。常に日本企業に協力していきたい。

また、10の言葉を大切にしている。そのいくつかを紹介する。

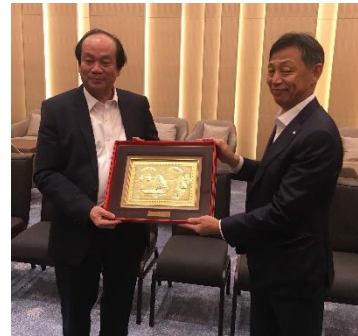
- ①「信用」日本企業からの信用を受ければ物事が進む
- ②「一貫」一貫した政策。最初に言ったことを実行する。
- ③「具体」具体的に取り組む
- ④「正確」物事を正確に取り組む。
- ⑤「安全」人に安全、企業の財務に安全な政策を行う。企業が利益を損なわないようにする。

現在、行革評議会の議長を務めている。日本政府が地方政府との間で問題がある際にこれらを守って行動していきたい。敬意を持って行革を進める。公務員の質や規律を高める。ベトナム政府が首相の指導の下、政策の実現を進めている。行政コストの削減、企業にとって非正規な費用の支払いをなくすことに努力する。

私がハナム省のトップの時に日本専用工業団地である「ドンバン3工業団地」を作った。後任者は他国企業も入居させたが、「一貫」の約束があるので、「No」と言っている。今後も「一貫」を守っていく。

ある中小企業が投資先を検討するためにハナム省に来たことがある。ハナム省は空港に近くないので投資には不利だが、投資家に持続的に良い条件を与えれば、持続的に事業が継続できる。私はそのような政策を進めてきた。

ハナム省にはレンタル工場もある。ハナム省への投資は中小企業向けの一つの答えであると思う。そして山埜共同委員長はじめ日メコン地域経済委員会、日本商工会議所にも恩義がある。日本の省庁とも緊密な連携を取っていく。チャイナ+1の方針でベトナムにも投資してほしい。



ズン官房長官と山埜共同委員長

ぜひ、各企業を連れてベトナムを訪問してほしい。官房長官である私がお迎えする。投資環境の良いところを見てほしい。

山王病院がハノイで投資した。ハナム省も850haの土地を質の高い病院のために用意している。ハノイ・ハイフォン近郊で2600万の人口がある。病院は大都市だけでなく交通の結末点で周辺人口が400～500万人あれば需要はある。

南北間の鉄道は、第12期国会で議論された。今は「新幹線」ではなく「高速鉄道」と言っている。緩やかに議論されており、最高時速200km/h、300km/h、350km/hなど様々な案がある。高速道路も拡大予定で9月にプロジェクトが開始する予定。

新幹線は来日するたびに乗っている。安全性がある。大雪で止まった際に駅にいたが、日本人が並んで静かに待っていることに感銘を受けて、部下に見習うように言ったことがある。

以上